

## 204頁

ヒゼンダニ、ケジラミ、アタマジラミ

①フェノトリン(ピレスロイド系)

●スミスリン(クラシエ)

ローション5%。

[特]a.疥癬はヒゼンダニによる感染症

b.神経細胞のNa<sup>+</sup>チャネルに作用し、その閉塞を遅らせることにより反復的な脱分極又は神経伝導を遮断→殺虫作用。

[効]a.疥癬

b.感染患者又は患者と接触の機会があり、かつ症状を呈する者に使用。

c.角化型疥癬及び爪疥癬には未承認。

[用]a.1週間隔で1回1本(30g)を頸部以下(頸部から足底までの皮膚)に塗布し、塗布後12時間以上経過した後に入浴、シャワー等で洗淨除去。

b.少なくとも2回塗布して確実な駆除。

c.2回目塗布以降は1週毎に検鏡等効果を確認し、再塗布を考慮。

d.治療初期に一過性にそう痒増悪も。

e.ヒゼンダニの死滅後もアレルギー反応として全身そう痒が遷延することも→特徴的な皮疹発生や感染がない場合、漫然再塗布は禁。

f.小児では1回塗布量を適宜減量。

[体内動態]未変化体血漿中濃度は10ng/mL未満。

[患]a.妊婦は有益性、危険性を判断。

b.授乳は回避。

[副]7%

D.皮膚炎、接触性皮膚炎、ひびあかざれ(皮膚亀裂)、水疱、末梢性浮腫、AST↑、ALT↑、血小板↑、ヒリヒリ感(錯感覚)。

売薬第2類

●スミスリン(大日本除虫菊)

Lシャンプー、パウダー0.4%

[効]シラミの駆除。

[用]Lシャンプー：予め髪を濡らし、

頭髮に10~20mL、陰毛に3~5mLを発毛部全体に塗擦し、

5分間放置後、薬剤を十分に洗淨。

パウダー：

頭髮に7g程度、陰毛に2g程度を、発毛部全体に散布伸展し、

・目、耳、鼻、口などに入らないように。

・シャワーキャップ等をかぶり、

1時間放置後、薬剤を十分に洗淨。

・卵に無効：7~10日で孵化のため、3日毎に、3~4回繰り返す。